



新庁舎工事

いよいよ着工

新庁舎建設には27億4000万円

継続費として3年間で支払う見込みです。

継続費の内訳

令和2年度 10億9600万円

令和3年度 16億1300万円

令和4年度 4270万円

令和元年度までに約9100万円を支出

建設スタートを前に、建設設計・管理業務、アスベスト調査分析、武徳館・庁舎付属建物解体等工事設計業務、建設委員会報酬など、約9100万円の経費を支払っています。

新年度は約13億円の予算計上

新年度は、新庁舎建設第一期工事、武徳館・車庫や書庫の解体などに約12億5632万円。そのほか設計監理業務委託料など、計13億1735万円が予算化されました。

新庁舎は、災害時の防災拠点の役割も想定されており、防災活動室や災害時の応援者の活動拠点としても活用できる町民展望ラウンジも設置される予定です。